

寿命のはなし

昔むかし大昔、人間も動物も、みんな同じ寿命があつて、いづまでも長生きしたもんだず。

そこで、神様は、それだば不公平だと思つて、それぞれ動物の寿命を決めるごどにしたりおな。

神様は、まず、一番先に、犬ば呼ばたず。そして「お前に三十年の寿命をやる」つたず。

したきや犬は「神様神様、オラ三十年だば長すぎる。オラ毎晩毎晩、寝ねで人の財産ば守つて来たすけに、もう疲れた。まなぐも悪くなつて、目くされにもなつて来たし、何とが二十

年にしてけろ」つたず。それでも神様は「いやいや三十年生ぎねばならねえんだ」つて云つた

ず。したども、犬は何としても「二十年にしてけろ」つてきかねがつたず。

次に神様は、馬は呼ばたず。「馬のお前にも、三十年の寿命をやる」つたず。

したきや馬も「神様神様、とつても三十年だば長すぎる。毎日毎日人間に使われで、重い荷物を運ぶのは大変だ。もう疲れた。何とが、十年短くしてけろ」つたず。それでも神様は「いやいや三十年生ぎ

ねばならねえんだ」つたず。したども馬は、なんとしても「二十年にしてけろ」つたず。

次に神様は、人間を呼ばたず。「人間にも、三十年の寿命をやる」つたず。

したきや、人間は「神様神様、三十年だば、短かすぎる。もつと生ぎらせでけろ」つたずおな。神様は仕方なく、犬と馬

が余した年を足した、二十年を人間に加えて、人間の寿命を五十年にしたず。それでも、人間は不服だつたずども、神様は、寿命をのばしてけねがつたず。

こういうわけで、人間は、三十歳を超えれば、苦勞するし、ゆるぐなぐなるのだず。

また、欲張つた年の分は、犬と馬の年だすけに、犬と馬のように働かねばならなぐなつたのだず。

どつとはれ



挿絵 / 久慈 彩華



表紙 割烹 萬鱗

vol. **106** February 2025

contents 目次

- 05 YOKOGAO 拝見
- 05 野菜歳時記
- 06 ランチ情報
- 10 八戸えんぶりガイド 2025
- 14 ショッピング情報
- 15 プレゼント
- 16 ビューティー & ヘルシー情報
- 22 タウンウォッチ
- 23 食育エッセイ
- 24 歓送迎会情報
- 31 はちのへ TAKEOUT Gourmet
- 34 クーポン

ホームページ公開中

パソコン
<http://www.webwell.jp>

ケイタイ
<http://www.webwell.jp/mobile/>

